

学 年	6学年	教科・領域	学級活動	副読本P	P52・53
第5章3			取り組もう！ボランティア活動		

仙台市立東四郎丸小学校 6学年

「もしもの時、私たちにできることは」

○ ねらい

ボランティア活動に取り組む人々の存在を知り、災害発生時に地域や家庭で自分にできることを考え、実践しようとする姿勢を持つことで「共助」の精神を身に付ける。

学習活動及び発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 「共助」について知る。</p> <p>みなさんは、「共助」という言葉を知っていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共に助ける…どういうことだろう？</li> <li>・ 地震の時に、みんなで助かろうってことじゃないかな。</li> <li>・ そうだね、みんなのために自分の力を発揮することだよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「共助」の意味をしっかりとおさえさせる。</li> <li>◇ 「自助」と「公助」についてもおさえさせ、「共助」と比較させる。</li> </ul>
<p>2 学習課題を知る。</p> <p>【学習課題】大きな地震が起きた時、家族や地域のために自分にできることを考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分にできることか…。まずは、自分の命を守ること。</li> <li>・ 家族のためか…。何ができるかなあ。</li> <li>・ 地域のためって何だろう？自分に何ができるだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ まずは、自分の命を自分で守ることを最前提とすることを確認する。</li> <li>◇ その上で、「家族のため」や「地域のため」を強調し、自分以外の人のために、自分に何ができるかを考えることを明確にする。</li> </ul>
<p>3 映像を見る。</p> <p>東日本大震災の時に、みんなと同じ年代の子供たちがどんな行動をとったか、映像を見せます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 実際の映像資料を参考にする一方で、自分達にもできることがたくさんあることに気付かせる。</li> <li>◇ 副読本P52～53を見ながら、ボランティア活動への取り組みが、「共助」につながることを説明する。</li> </ul>
<p>4 考えを発表する。</p> <p>東日本大震災の時に、みんなと同じ年代の子供たちがどんな行動をとったか、映像を見せます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家の倒れた家具などを元どおりにするのを手伝う。</li> <li>・ 避難所の炊出しや配給を手伝う。</li> <li>・ 水を運ぶのを手助けする。</li> <li>・ 避難所のトイレの掃除などを手伝う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 家庭や地域（特に避難所）のために、自分にできそうなことを、たくさん出させる。</li> <li>◇ 自分にも、家族や地域のためにできることが、たくさんあることに気付かせることで、自己有用感をもたせる。</li> </ul>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートに、今日の授業の振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自分の考えや、新たな発見や疑問などを書くよう指示する。</li> </ul>